

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	看護研究Ⅱ(実践)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期	教室名	教室・パソコン室
担 当 教 員	及川登美子	実務経験とその関連資格	総合病院で精神科病棟に看護師として勤務、大学院をを修了した後も研究発表・投稿している			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>看護研究Ⅰ(基礎)で、看護研究に関する基礎知識を学習した上で、実際に研究に取り組み、研究のプロセスを通じて研究の進め方の理解を深める。また、研究に取り組む姿勢を養う。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>演習参加状況(20%)、論文の完成度(70%)、発表(10%)で評価する</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院 適宜資料を配布する</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>授業では、自分たちの計画した研究計画書をもとに研究にとりくみます。そして、期日までに論文作成を行います。学生ひとりひとり、取り組む内容が異なりますが、真摯に研究にとりくんでください。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>看護研究は担当教員以外の教員に指導をしていただく場合が多いです。指導教員への指導をもらう場合にはきちんと事前に指導をうける日程を事前相談しておいてください。学生の都合で指導はもらえないことを意識してください。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書にそって、研究を実施できる	教科書 AV機器他		研究計画書にそって研究を実施する
		各コマにおける授業予定	看護研究の実際：保健医療に関することや、学生の身近な問題に着目した研究実践について			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書にそって、研究を実施し、自分たちの研究の内容にそった文献を検索し検討できる	教科書 AV機器他		自分たちの研究の内容にそった文献を検討し、文献カードを作成する
		各コマにおける授業予定	課題に関する文献検索と検討			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書にそって、研究を実施し対象からデータを収集し、そのデータを分析できる	教科書 AV機器他		対象から得たデータを整理し分析する
		各コマにおける授業予定	データの収集、分析			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書にそって、研究を実施し対象からデータを収集し、そのデータを分析できる	教科書 AV機器他		対象から得たデータを整理し分析する
		各コマにおける授業予定	データの収集方法、分析方法			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	データを分析し、論文としてまとめる	教科書 AV機器他		得られた結果をもとに考察をまとめ、論文として作成する
		各コマにおける授業予定	論文としてまとめる			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	自分たちの研究を院内で発表できる	教科書 AV機器他	論文をまとめ、パワーポイントを作成し発表の準備を行う
		各コマにおける授業予定	看護研究発表の仕方、発表原稿の作成		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	看護研究を学内で発表できる	教科書 AV機器他	論文をまとめ、パワーポイントを作成し発表の準備を行う
		各コマにおける授業予定	看護研究発表の仕方、発表原稿の作成と講評の仕方		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	看護研究を修正できる	教科書 AV機器他	論文等を修正する
		各コマにおける授業予定	看護研究発表の振り返りと修正方法		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			